

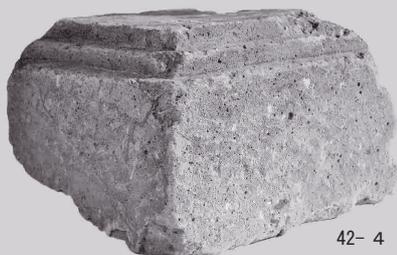
42- 1



42- 2



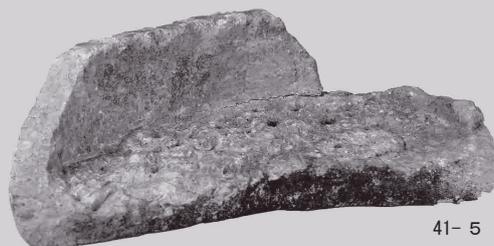
42- 7



42- 4



42- 5



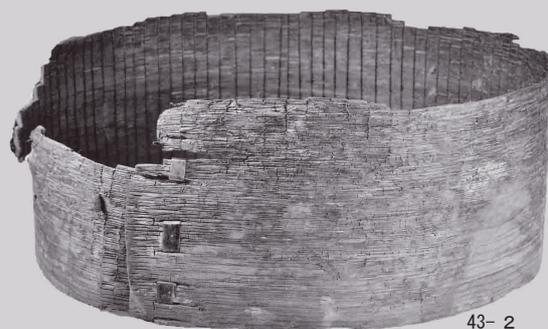
41- 5



43- 3



43- 1



43- 2



44- 3



43- 4



44- 4



44- 5



44- 1

44- 2



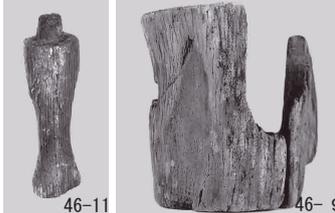
46-12 表



46-12 裏



45- 8



46-11

46- 9



46- 1



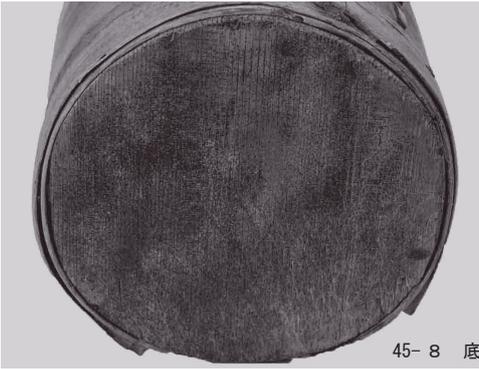
推板



47- 7



47-10



45- 8 底



47- 6



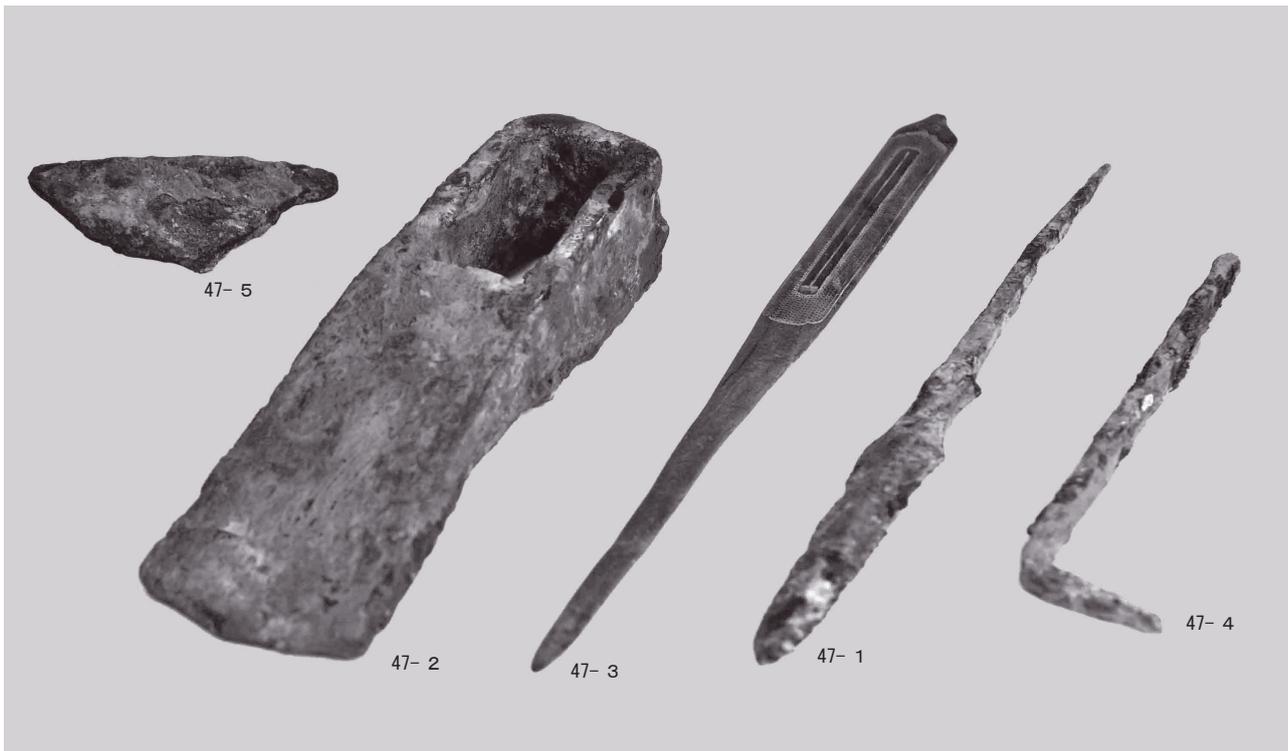
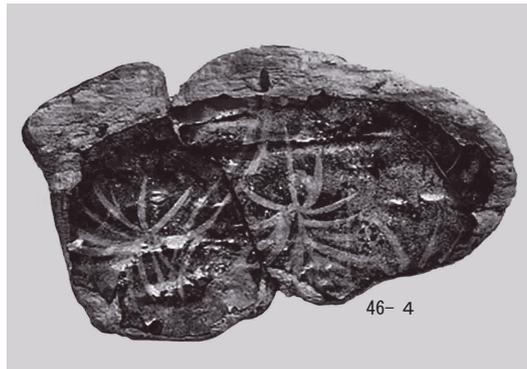
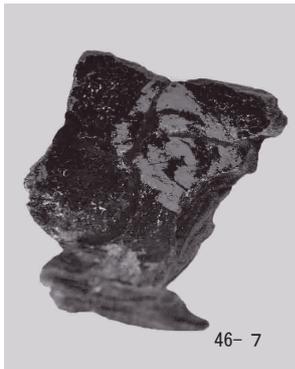
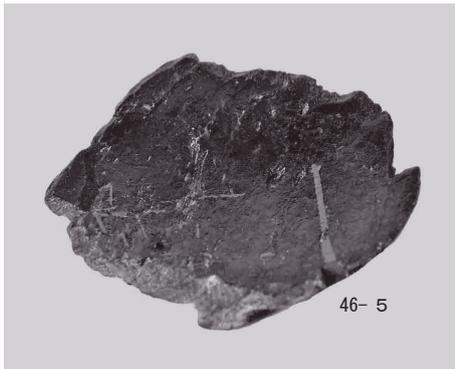
47- 8



47-11



47- 9



報 告 書 抄 録

ふりがな	よりやす・くりもりいせき2							
書名	寄安・栗森遺跡2							
副書名	北陸新幹線建設に伴う調査7 一般県道福井森田丸岡線道路改良工事に伴う調査2							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第178集							
編著者名	青木隆佳（編） 田中勝之 赤澤徳明							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒918-8226 福井県福井市大畑町97-21-3 TEL 0776-53-7977							
発刊年月日	西暦2022年3月14日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° / "	東経 ° / "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
よりやす・くりもり 寄安・栗森 いせき 遺跡	ふくいけん 福井県 さかいし 坂井市 はるえちようよりやす 春江町寄安	18210	12050	36° 07' 20"	136° 14' 40"	20160901 ～ 20161228	2,900 m ²	記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
寄安・栗森 遺跡	集落	弥生時代 鎌倉・室町 時代・近世	溝 掘立柱建物 井戸 土坑 溝	弥生土器 陶磁器 木製品 石製品 金属製品		区画溝に囲まれた中世集落		
要約	<p>鎌倉時代と室町時代を主とし営まれた集落遺跡である。遺構の分布から方形上の溝で区画された内側の一画に建物群、その周辺に井戸や土坑などが構築されている。出土した遺物からも一般集落と比べて鉄製品や輸入陶磁器など貴重品がみられる。</p> <p>このことから、近隣に所在する石丸城や中世の北陸道にかかわる集落と想定される。</p>							

福井県埋蔵文化財調査報告 第178集

寄安・栗森遺跡 2

— 北陸新幹線建設に伴う調査 7 —
— 一般県道福井森田丸岡線道路改良工事に伴う調査 2 —

令和 4 年 3 月 4 日 印刷

令和 4 年 3 月 14 日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
〒918-8226 福井市大畑町97-21-3
印刷 足羽印刷株式会社
〒918-8231 福井市問屋町3丁目212
